



## 平成26年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月5日

上場取引所 東

上場会社名 東海カーボン株式会社

コード番号 5301 URL <http://www.tokaicarbon.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 工藤 能成

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理本部経理部長

(氏名) 松原 和彦

TEL 03-3746-5100

四半期報告書提出予定日 平成26年8月6日

配当支払開始予定日

平成26年9月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年12月期第2四半期の連結業績(平成26年1月1日～平成26年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第2四半期	55,437	9.9	1,386	62.2	1,242	△37.6	780	△21.2
25年12月期第2四半期	50,443	△1.2	854	△78.3	1,990	△52.9	990	△61.7

(注) 包括利益 26年12月期第2四半期 △937百万円 (△111.5%) 25年12月期第2四半期 8,120百万円 (120.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第2四半期	3.66	—
25年12月期第2四半期	4.64	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
26年12月期第2四半期	196,579		121,593		60.8	
25年12月期	183,427		123,232		66.0	

(参考) 自己資本 26年12月期第2四半期 119,608百万円 25年12月期 121,101百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
25年12月期	—	3.00	—	3.00	6.00
26年12月期	—	3.00	—	3.00	6.00
26年12月期(予想)	—	—	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	113,000	12.0	3,000	81.2	3,000	△3.7	1,800	48.4	8.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
新規 1社 (社名) Cancarb Limited 、除外 1社 (社名)  
(注)詳細は、[添付資料]3ページ「2. (1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご参照下さい。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年12月期2Q	224,943,104 株	25年12月期	224,943,104 株
26年12月期2Q	11,444,554 株	25年12月期	11,432,175 株
26年12月期2Q	213,505,041 株	25年12月期2Q	213,543,223 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、[添付資料]3ページ「1. (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照下さい。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

- ※ 当社は、下記のとおり投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する資料については、開催後速やかに当社ホームページ上に掲載する予定です。
- ・平成26年8月8日（金）・・・・アナリスト向け説明会

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成26年1月1日から平成26年6月30日まで）における世界経済は、民間需要を中心とした堅調な回復を続ける米国経済や欧州景気の持ち直し、中国経済の低位ながら安定した景気拡大の影響を受け、緩やかな回復基調を継続しました。また、わが国経済も、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動から景気は一時的に減速したものの、その後持ち直しの動きが見られ、経済環境の安定や円安傾向の定着を背景に緩やかな景気回復傾向が持続しました。

このような状況のなか、当社グループの対面業界であるゴム製品、鉄鋼、半導体、情報技術関連、産業機械などの各業界におきましては、自動車関連分野では生産の回復基調が鮮明となり、その他の分野でも概ね緩やかな回復傾向が見られました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は前年同期比9.9%増の554億3千7百万円となりました。損益面におきましては、営業利益はカーボンブラック事業の国内外市場への安価な中国製品の流入やタイヤの自動車生産低下等の影響を受けましたが、4月15日付で連結子会社となったCancarb Limitedの業績寄与もあり前年同期比62.2%増の13億8千6百万円となりました。経常利益は為替が前期末比円高で推移したため為替差損が増加したことなどから前年同期比37.6%減の12億4千2百万円となり、四半期純利益は前年同期比21.2%減の7億8千万円となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

#### [カーボンブラック事業部門]

国内においては、対面業界である自動車およびタイヤ産業は消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動の影響は少なく、カーボンブラック需要も堅調に推移しました。日本およびタイ市場では依然として続く安価な中国製品流入の影響を受けたものの、欧米を中心とした緩やかな景気回復を受け、販売数量は前年同期比で増加しました。

以上により、当事業部門の売上高は前年同期比17.0%増の253億9千7百万円となり、営業利益は国内の価格改定や操業度の向上により前年同期比28.2%増の11億4千1百万円となりました。

#### [炭素・セラミックス事業部門]

##### 黒鉛電極

世界粗鋼生産は前年同期を上回る水準で推移し、対面業界である電炉鋼の生産においても同様に推移しました。主たる市場においては、韓国を除き北米、欧州、日本において需要は緩やかな回復基調で推移しましたが、販売数量は出荷時期のずれもあり前年同期比並となりました。この結果、円安効果は受けたものの、販売価格の低迷などにより黒鉛電極の売上高は前年同期比1.6%減の155億2千2百万円となりました。

##### ファインカーボン

太陽電池用は、顧客の在庫調整が進んだことから需要は回復基調で推移しました。半導体用、一般産業用およびLED用は引き続き堅調に推移し、全体的な回復感が見えてきました。この結果、ファインカーボンの売上高は前年同期比12.6%増の70億9千9百万円となりました。

以上により、当事業部門の売上高は前年同期比2.4%増の226億2千1百万円となり、営業利益は、黒鉛電極の価格低迷による採算悪化およびファインカーボンの収益が緩やかな改善に留まったため前年同期比8.3%減の5億3千8百万円となりました。

#### [工業炉および関連製品事業部門]

主要な需要先である情報技術関連業界では、一部に回復の兆しが見られ主力製品である工業炉の売上高は前年同期比増となりました。発熱体その他製品の売上高は、中国における需要回復に支えられたものの、国内ガラス関連業界の需要が低調に推移したため前年同期並となりました。

以上により、当事業部門の売上高は前年同期比4.3%増の22億4千7百万円となり、営業利益は前年同期比55.2%増の2億5千9百万円となりました。

#### [その他事業部門]

##### 摩擦材

主な需要先である建設機械向けでは、中国市場の伸び悩みや資源価格下落の影響を受け、インフラ整備用途と鉱山機械用途の需要が依然として低迷しているものの、車両メーカーの在庫調整が進んだことにより、車両用途の受注は上向き基調に転じました。これに加え農業機械向けが北米市場において好調であったこともあり、摩擦材の売上高は前年同期比9.1%増の42億4千9百万円となりました。

その他

不動産賃貸等その他の売上高はリチウムイオン二次電池用負極材の販売が増加したことにより前年同期比52.2%増の9億2千万円となりました。

以上により、当事業部門の売上高は前年同期比14.9%増の51億7千万円となり、営業利益は1億3百万円（前年同期は2億3百万円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末比131億5千1百万円増の1,965億7千9百万円となりました。流動資産は、現金及び預金、たな卸資産などの減少により、前連結会計年度末比21億8千8百万円減の887億9千5百万円となりました。固定資産は、Cancarb Limitedの取得によって、のれん、顧客関連資産などが計上されたことにより、前連結会計年度末比153億4千万円増の1,077億8千4百万円となりました。

負債合計は、前連結会計年度末比147億9千万円増の749億8千5百万円となりました。流動負債は、短期借入金などの増加により、前連結会計年度末比119億9千4百万円増の543億8千万円となりました。固定負債は、繰延税金負債、長期借入金などの増加により、前連結会計年度末比27億9千6百万円増の206億5百万円となりました。

純資産合計は、為替換算調整勘定、その他有価証券評価差額金などの減少により、前連結会計年度末比16億3千9百万円減の1,215億9千3百万円となりました。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末比5.2ポイント減の60.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年8月4日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表した業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第2四半期連結会計期間において、全株式を取得したことにより、Cancarb Limitedを連結の範囲に含めております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	16,048	14,996
受取手形及び売掛金	30,075	30,303
商品及び製品	14,589	14,393
仕掛品	15,666	13,783
原材料及び貯蔵品	11,251	11,728
繰延税金資産	982	913
その他	2,624	2,756
貸倒引当金	△253	△79
流動資産合計	90,984	88,795
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	16,548	16,525
機械装置及び運搬具(純額)	25,258	28,181
炉(純額)	1,355	1,204
土地	7,143	7,193
建設仮勘定	10,614	10,983
その他(純額)	1,064	1,033
有形固定資産合計	61,985	65,121
無形固定資産		
ソフトウェア	417	391
のれん	—	7,197
顧客関連資産	—	4,663
その他	46	1,072
無形固定資産合計	464	13,324
投資その他の資産		
投資有価証券	27,939	27,088
繰延税金資産	346	325
その他	1,764	2,117
貸倒引当金	△57	△193
投資その他の資産合計	29,994	29,338
固定資産合計	92,443	107,784
資産合計	183,427	196,579

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,704	12,520
電子記録債務	1,474	1,970
短期借入金	19,267	34,609
1年内返済予定の長期借入金	1,450	5
未払法人税等	910	401
未払消費税等	271	—
未払費用	1,350	1,260
賞与引当金	163	275
繰延税金負債	—	0
その他	4,792	3,336
流動負債合計	42,385	54,380
固定負債		
長期借入金	5,044	6,431
繰延税金負債	6,627	8,404
退職給付引当金	3,708	3,615
役員退職慰労引当金	130	115
執行役員等退職慰労引当金	34	28
環境安全対策引当金	557	459
その他	1,706	1,549
固定負債合計	17,809	20,605
負債合計	60,195	74,985
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,436	20,436
資本剰余金	17,502	17,502
利益剰余金	76,014	76,154
自己株式	△7,146	△7,150
株主資本合計	106,807	106,943
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,715	10,072
繰延ヘッジ損益	—	0
為替換算調整勘定	3,578	2,592
その他の包括利益累計額合計	14,294	12,665
少数株主持分	2,131	1,985
純資産合計	123,232	121,593
負債純資産合計	183,427	196,579

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
売上高	50,443	55,437
売上原価	42,748	46,990
売上総利益	7,694	8,447
販売費及び一般管理費	6,839	7,060
営業利益	854	1,386
営業外収益		
受取利息	38	35
受取配当金	220	268
受取賃貸料	142	151
持分法による投資利益	138	527
為替差益	1,035	-
その他	242	259
営業外収益合計	1,818	1,243
営業外費用		
支払利息	328	354
為替差損	-	395
その他	354	637
営業外費用合計	682	1,386
経常利益	1,990	1,242
特別損失		
減損損失	76	14
特別損失合計	76	14
税金等調整前四半期純利益	1,914	1,228
法人税、住民税及び事業税	943	608
法人税等調整額	80	△124
法人税等合計	1,023	483
少数株主損益調整前四半期純利益	890	744
少数株主損失(△)	△100	△35
四半期純利益	990	780



(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	890	744
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,276	△640
繰延ヘッジ損益	2	0
為替換算調整勘定	3,749	△986
持分法適用会社に対する持分相当額	202	△54
その他の包括利益合計	7,230	△1,682
四半期包括利益	8,120	△937
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,816	△848
少数株主に係る四半期包括利益	304	△88

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,914	1,228
減価償却費	4,214	3,988
減損損失	76	14
のれん償却額	—	70
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	55	△35
賞与引当金の増減額 (△は減少)	68	112
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	13	35
前払年金費用の増減額 (△は増加)	△158	△49
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△24	△14
執行役員等退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△10	△6
環境安全対策引当金の増減額 (△は減少)	△84	△97
受取利息及び受取配当金	△258	△303
支払利息	328	354
為替差損益 (△は益)	△335	213
持分法による投資損益 (△は益)	△138	△527
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,258	524
たな卸資産の増減額 (△は増加)	4,124	1,971
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,375	434
その他	34	△299
小計	7,185	7,612
利息及び配当金の受取額	301	315
利息の支払額	△313	△337
法人税等の支払額	△860	△1,082
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,312	6,508
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△4,189	△5,364
無形固定資産の取得による支出	△78	△52
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△16,823
子会社持分の取得による支出	△62	—
その他	△7	127
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,338	△22,112
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,041	15,797
長期借入れによる収入	—	1,414
長期借入金の返済による支出	△164	△1,405
配当金の支払額	△640	△640
少数株主への配当金の支払額	△85	△57
その他	△31	△30
財務活動によるキャッシュ・フロー	118	15,078
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,056	△527
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	3,149	△1,053
現金及び現金同等物の期首残高	11,891	16,046
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,040	14,993

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 事業 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注)3
	カーボン ブラック 事業	炭素・セラ ミックス 事業	工業炉お よび関連 製品事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	21,706	22,083	2,154	45,944	4,498	50,443	—	50,443
セグメント間の内部売上高又は振替高	35	35	180	251	—	251	△251	—
計	21,741	22,119	2,334	46,195	4,498	50,694	△251	50,443
セグメント利益又は 損失(△)	890	587	167	1,645	△203	1,442	△587	854

(注)1 「その他事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、摩擦材事業および不動産賃貸等を含んでいます。

2 セグメント利益の調整額△587百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△590百万円が含まれています。全社費用は、報告セグメントに帰属しない研究開発費等です。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「炭素・セラミックス事業」セグメントにおいて、遊休状態にあり、将来の用途が定まっていない資産について、回収可能価額が帳簿価額を下回ったことから減損損失を計上しています。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては62百万円です。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 事業 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注)3
	カーボン ブラック 事業	炭素・セラ ミックス 事業	工業炉お よび関連 製品事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	25,397	22,621	2,247	50,266	5,170	55,437	—	55,437
セグメント間の内部売上高又は振替高	39	41	192	273	—	273	△273	—
計	25,437	22,663	2,440	50,540	5,170	55,711	△273	55,437
セグメント利益	1,141	538	259	1,940	103	2,043	△657	1,386

(注)1 「その他事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、摩擦材事業および不動産賃貸等を含んでいます。

2 セグメント利益の調整額△657百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△662百万円が含まれています。全社費用は、報告セグメントに帰属しない研究開発費等です。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「カーボンブラック事業」セグメントにおいて、Cancarb Limitedの全株式を取得し、連結子会社としています。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては7,197百万円です。